

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 技術情報第13号（サトウキビのイネヨトウ）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成24年度 技術情報第13号

1 対象病害虫 イネヨトウ

2 対象作物 サトウキビ

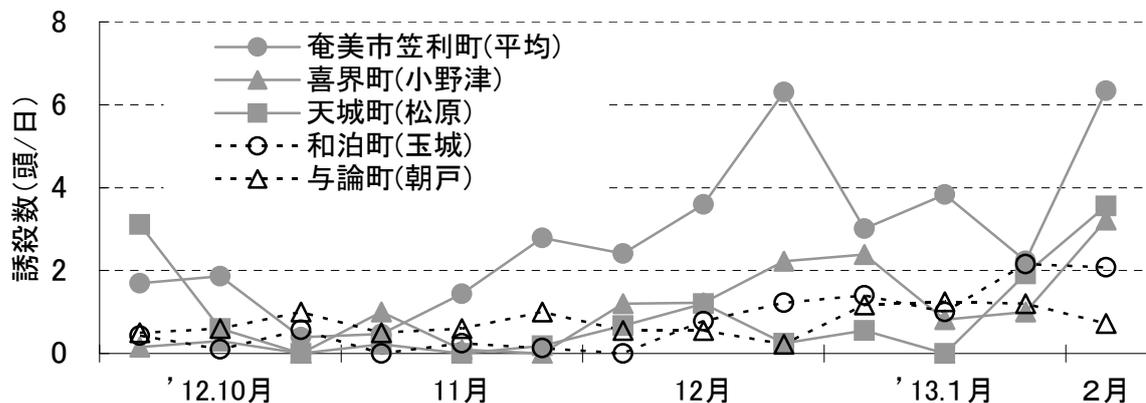
3 発生地域 奄美地域

4 情報の内容

奄美地域では、イネヨトウ成虫の誘殺数が増加傾向にあり、今後、被害の拡大が懸念されるため、適切な防除を行う必要がある。

5 情報の根拠

イネヨトウ成虫の誘殺数は、1月下旬以降増加傾向にあり、2月には2頭/日を超えている地点が認められた。特に奄美大島では、昨年末から継続して誘殺数が2頭/日を超えている（第1図）。



第1図 イネヨトウのフェロモントラップ誘殺数の推移

6 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内及び周辺の除草を徹底する。
- (2) 薬剤（粒剤）は、春植栽培では植付け時に、株出栽培では管理作業時に、夏植栽培では最終培土時に処理し、土壌とよく混和させ、効果を安定させる。
- (3) 農薬の使用に当たっては、表示ラベルを確認の上、使用基準を遵守するとともに、飛散防止に十分注意する。